

私たちは始めに、板材を使って、都市のコンテクストを読みこんだ空間を表現しようとした。

しかし、ダイアグラムの考え方で展開していった結果、当初考えていたものとは異なるものが生まれた。
このプロセスは非常に大きな混沌を表現することができるのではないか？

これは、創出されるときに持っていたコンテクストを埋没させ、建築物が持つべき空間の意味合いを大きく変化させた。

結果として、モニュメント的な面が強くなったが、それを「建築」として認識するか「モニュメント」として認識するかは、第三者に判断をゆだねた。

そのため、多くの人の目に触れる場所に配置した。

